

いなべ市財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
11,637	1,658	646	13,941

1. 一般会計及び特別会計(住宅新築資金、農業公園)の財政状況 (主として普通会計に係るもの)

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	19,989	18,549	1,440	1,346	932	18,343	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	47	40	7	7	3	105	
農業公園事業特別会計	116	95	20	16	18	-	
普通会計	20,147	18,679	1,468	1,369		18,448	

2. 1以外の特別会計の財政状況(公営企業を含む公営事業会計に係るもの)

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	1,037	1,027	10	2,492	364	6,428	3,285	
国民健康保険特別会計	4,162	3,946	216	216	286	-	-	
老人保健特別会計	4,408	4,293	115	115	350	-	-	
介護保険特別会計	2,168	2,062	107	107	339	-	-	
農業集落排水事業特別会計	266	258	8	8	202	1,917	1,220	
下水道事業特別会計	1,901	1,761	140	121	1,009	15,732	10,462	
公営企業会計等計				3,059		24,077	14,967	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. いなべ市が関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
三重県市町職員退職手当組合								
(うち一般会計)	10,548	9,799	748	748	2,740	-	-	
(うち特別会計)	125	124	0	0	-	-	-	
(うち公平委員会特別会計)	4	2	2	2	-	-	-	
三重県自治会館組合								
(うち一般会計)	158	152	6	6	-	-	-	
(うち特別会計)	423	421	2	2	-	-	-	
三重地方税管理回収機構	286	164	121	121	-	-	-	
桑名・員弁広域連合	710	698	12	12	-	3,428	663	
桑名広域清掃事業組合	3,185	3,087	99	80	80	7,781	472	
三重県後期高齢者医療広域連合	1,157	1,083	74	61	-	-	-	
一部事務組合等計				1,032		11,209	1,135	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況 (員弁土地開発公社、ほくせいふれあい財団、北勢線施設整備株式会社)

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
員弁土地開発公社	△ 20	3,902	20	-	42	973	-	-	
ほくせいふれあい財団	17	73	20	1	-	-	-	-	
北勢線施設整備株式会社	0	10	-	30	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等計			40	31	42	973	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		4,514	
減債基金		378	
その他充当可能基金		4,123	
充当可能基金計		7,340	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	-	9.81	-	△12.86	△ 20.00	いなべ市水道事業会計		359.5	
連結実質赤字比率		31.76		△17.86	△ 40.00	いなべ市下水道事業会計		29.7	
実質公債費比率	9.7	10.5	0.8	25.0	35.0	いなべ市農業集落排水事業会計		14.6	
将来負担比率		50.7		350.0		-		-	
財政力指数	0.93	0.97	0.04			-		-	
経常収支比率	86.5	92.3	5.80			-		-	

(注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。

2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△ 20%である(公営競技は0%)。

※金額の欄は、各項目とも千円単位で計算した額を百万円未満四捨五入して計上していますので、差引額が一致しない場合があります。